

製造業のビジネスチャンスが見える
モノづくり最新情報サイト
じゃぱんお宝にゅ～す

じゃぱんお宝にゅ～す

モノづくり現場の未来を見つける
製造業応援サイト
じゃぱんお宝WEB新聞

Sodick 加賀事業所内に食品機械工場増設

加賀事業所内に食品機械の新工場を増設 製麺機と米飯製造システムの生産体制強化 チルド米飯や惣菜など新規食品加工分野拡大

2023年3月1日 加賀事業所内で 地鎮祭執り行う

ソディックは3月1日(水)、加賀事業所(石川県加賀市宮町)内で、食品機械新工場増設の地鎮祭を執り行った。

地鎮祭には、来賓として宮元 陸加賀市長や稲垣清也加賀市議会議長など地元関係者ほか、ソディック専務取締役の塚本 英樹氏はじめソディック関係者、工事関係者など約50名が出席し、工事中の安全を祈願した。

食品機械新工場は、主力の製麺機と米飯製造システムの生産体制強化に加え、新たな食品生産加工機械分野に事業領域を拡大する。

また、新工場増設に合わせ既存工場を改修、米飯製造システムの組立エリア、ショールーム、試運転スペース、資材倉庫を拡張する。

新工場は本年3月着工し、11月の完成を予定している。既存工場改修は本年12月着工、2024年5月完成を予定している。

食品機械新工場 増設背景と目的

ソディック加賀事業所内食品機械工場は、主力生産品目の製麺機、米飯製造システムに関連するミキサー、圧延機、茹槽、水洗槽、蒸機、殺菌装置、米飯装置等の多岐にわたるユニットを製造。付帯設備として事務所、研究室、ショールーム、資材倉庫などが整備されている。

しかし、大規模な製麺機や米飯製造システムは工場面積の制約上、顧客先に納入設置後に最終動作確認となるケースが生じていたこと、また米飯製造装置と製麺機の茹水洗槽といった大型ラインが必要となる生産が並行して行えないなどの課題があった。さらに、ショールームが狭く販売促進活動に支障が生じる、生産台数に対し購買エリアが狭く部品保管場所が不足、機械完成から出荷まで製品を仮置きするスペースが無く、工場外に倉庫を借りることでの保管経費や運搬作業負担が増加するなど、様々な課題があった。



同社は、食品機械部門の事業計画として2026年度売上135億円を掲げており、目標達成に向け、今回、新工場増設と既存工場改修を行うことで、不足している組立エリアおよびショールーム、試運転スペース、資材倉庫を拡張することにした。同時に主力の製麺機と米飯製造システムの生産体制強化に加え、チルド米飯、惣菜、製菓等の生産加工機械分野にも事業領域を拡大する。

食品機械新工場 増設概要

- ◇所在地：株式会社ソディック 加賀事業所内。
- ◇住所：石川県加賀市宮町カ 1-1。
※加賀事業所内の既設食品機械工場(第11工場)西側。
- ◇工場面積：建屋外寸/延床面積。
※100m×42m/4147.8㎡(内トラックヤード615.6㎡)。
- ◇建設費用：約11.7億円を予定。
※既存工場改修も含む。
- ◇生産品目：食品機械。
- ◇建設計画 新工場：2023年3月着工。
- ◇新工場完成：2023年11月予定。
- ◇既存工場改修：2023年12月着工。
- ◇既存工場改修完成：2024年5月予定。
- ◇建築主：株式会社ソディック
代表取締役 古河健一
- ◇設計監理者：清水建設株式会社
- ◇施工者：清水建設株式会社

(※資料提供：ソディック)

地元雇用に貢献

ソディックは、加賀事業所内食品機械工場の従業員を、地元雇用を中心に昨年度より増員。将来的には50人増員する計画で、地域での雇用創出にも貢献していく。

同社は、引き続き国内外で増加が見込まれる食品機械事業の需要に対し、十分な供給能力を確保し、海外の食品機械生産拠点である中国・廈門工場とともに、供給体制をさらに強化する。

